

議会から こんにちは

2016 **5.1**
平成28年

消防本部庁舎が完成し、3月27日に内覧会が行われました。会場でははしこ車体験搭乗や放水体験などの各種イベントが行われ、たくさんの家族で賑わいました。

**議会報告会を
開催します!!**

詳しくは裏面をご覧ください

さの
市議会だより

www.city.sano.lg.jp/gikai/

平成28年2月定例会

- 平成28年度予算案を可決
- 予算審査特別委員会では延べ27人が質疑
- 一般質問に19人が登壇

佐野市議会

検索



佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。→

佐野市議会スマート中継

検索



3年目を迎えた総合計画後期基本計画及び行政経営方針を推進する

平成28年度の予算を審議、可決

平成28年度予算は、「平成28年度佐野市行政経営方針」、「予算と総合計画の連携」及び「選択と集中による一般財源の効率的な活用」などの内容を盛り込んだ「平成28年度予算編成方針」に基づき編成されました。

市長の予算大綱説明に対しての予算大綱質疑には、山菅直己議員（政友みらい）、青木 伸議員（政風会）、蓼沼一弘議員（大樹会）、木村久雄議員（公明党議員会）、岡村恵子議員（日本共産党議員団）、田所良夫議員（新風）（以上質疑順）の6人が登壇しました。

また、議員全員で構成される予算審査特別委員会では、一般会計、各特別会計及び各公営企業会計の予算（案）に対し、3月11日～16日の4日間にわたり延べ27人の委員による質疑が行われました。その結果、新年度予算全13議案を可決し、併せて「平成28年度予算審査要望書（3～4ページに記載）」を取りまとめました。



市長の予算大綱説明

予算審査特別委員会（パソコン・タブレット・スマートフォンで見られます!）



予算審査会場の様子



副委員長
久保 貴洋



委員長
若田部 治彦

予算審査特別委員会質疑者一覧

一 般 会 計			
発言 順序	氏 名	発言 順序	氏 名
1	飯 田 昌 弘	10	岡 村 恵 子
2	鈴 木 靖 宏	11	青 木 伸
3	横 田 誠	12	亀 山 春 夫
4	鶴 見 義 明	13	本 郷 淳 一
5	齋 藤 弘	14	川 嶋 嘉 一
6	田 所 良 夫	15	小 暮 博 志
7	山 菅 直 己	16	大 川 圭 吾
8	高 橋 功	17	菅 原 達
9	井 川 克 彦		

各特別会計、水道事業会計及び病院事業会計

発言 順序	氏 名	発言 順序	氏 名
1	岡 村 恵 子	6	菅 原 達
2	鈴 木 靖 宏	7	齋 藤 弘
3	青 木 伸	8	鶴 見 義 明
4	飯 田 昌 弘	9	大 川 圭 吾
5	井 川 克 彦	10	本 郷 淳 一



予算審査会場の様子

平成28年度予算審査要望書

1 本市をはじめ全国の多くの自治体は、歳入面で、生産年齢人口の減少による市税収入の減少や平成31年度限りで終了する交付税の特例措置、歳出面では、急激な高齢化による社会保障経費の増加や老朽化する公共施設の維持・更新経費の増大が見込まれるなど、今後も厳しい財政状況が続くことが予想される。

こうした状況下で編成された本市の新年度予算は、人口減少の克服と基礎的自治体に必要な施設の整備と長寿命化に重点を置く予算となったが、その執行に当たっては、総合戦略を具現化する事業へ一層集中するとともに、市を取り巻く状況変化に柔軟に対応できる体制を整え、次世代へとつながる行財政運営の確立を目指されたい。

2 気象庁が公表している資料によると、近年、短時間強雨の増加傾向が明瞭になっている。本市も、平成26年6月及び平成27年9月に大雨・洪水警報を伴う豪雨により洪水被害を受けたことは記憶に新しいところである。

こうした状況に鑑み、現在進めている地域防災計画の見直しに当たっては、具体的な行動マニュアル(タイムライン)を作成することにより、迅速かつ的確な初動対応をとることができるよう見直しを行い、計画の実効性を高められたい。

また、地域防災士を中心とした自主防災組織の育成を推進されたい。

3 人口減少と少子高齢化が同時に進行する社会、そして、老朽化した施設の大規模修繕や建替えなどが一斉に更新時期を迎える状況の中で、市有施設の整備や維持管理のあり方が大きな転換期となっている。

本市も市有施設適正配置計画を策定する予定であるが、策定に当たっては、将来的な人口減少及び人口構造の変化に合わせた市有施設の用途や機能の見直しを行うとともに、市が保有する土地やインフラなどの資産も有効に活用し、財政の健全性を損なわない維持管理のあり方を検討されたい。

4 昨年12月、佐野市人口ビジョンに定めた人口目標を実現するため、佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略が示された。

そして、新年度予算には産業用地分譲促進事業や天明鋳物PR活用推進事業など、この戦略を推進するための各種事業費が計上された。

新年度は、最重要課題である人口減少の克服に向けて、これらの事業を確実に実施するとともに、こうした取組の中から更に強化すべき施策や新たな施策の展開等を検討し、戦略目標の実現を目指されたい。

5 子育て支援策は、人口減少や高齢化のスピードを抑えるうえで、企業誘致の推進とともに中心的な役割を果たすものであるため、本市も平成27年4月から、子ども・子育て支援事業計画に基づいて総合的な子育て支援対策に取り組んでいる。

新年度においても、こどもクラブ施設整備事業や子宝祝金支給事業、そして第3子以降保育料免除事業の拡充などの取組を予定しているが、こうした事業を更に充実することで子育てと仕事の両立を支援するとともに、保留児ゼロを目指し、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備されたい。

6 高齢化が進行する中、2025年には団塊の世代が75歳以上となり、医療・介護ニーズが更に高まることが予想される。しかし、一方では多くの高齢者が65歳を過ぎても元気で活力に満ちた生活を送っている。

そこで、こうした意欲のある高齢者が、これまで培ってきた知識や技能を生かせる機会の創出や高齢者ふれあいサロンの機能充実など、交流を通じた活躍の場の創出に更に取り組まれたい。

7 総合計画後期基本計画に掲げられた施策「北関東自動車道沿線開発と企業誘致の推進」は、本市の将来像である交流拠点都市の実現に向けた産業振興策であると同時に、人口減少問題への有力な対応策である。

そこで、分譲が順調に進んでいる佐野田沼インター産業団地及び平成28年10月に分譲予約が開始される佐野インター産業団地の事業推進はもとより、首都圏広域地方計画に位置付けられる予定のインランドポートを核とした総合物流拠点の開発・整備を推進されたい。

8 国民健康保険制度については、被保険者の年齢構成が高く医療費水準が高い、加入者の所得水準が低い、保険料負担が重いなど、被保険者の実態に起因する構造的な問題が恒常化しており、本市も厳しい財政運営を強いられている。

こうした状況を改善するため、現在、保険者の栃木県移管の手続が進められているが、広域化するだけでは問題は解決されず、財政負担を県に移すにすぎない。

抜本的な解決策は、国に委ねるしかないが、本市は、治療から予防策への転換、適正受診の啓発や訪問指導、ジェネリック医薬品の普及促進などの施策を講じ、財政の健全化を目指されたい。

9 水道施設は、市民が安全に安心して暮らすために欠くことのできないライフラインであるため、災害に強い施設の構築及び老朽管の更新を進め、安定した水道水の供給を図られたい。

下水道施設については、近年頻発している短時間強雨対策として有効な雨水排水路等の整備を推進されたい。

また、合併処理浄化槽の活用を含め、より効果的な污水处理施設の整備手法を検討されたい。

10 本市の第6期介護保険事業計画によると、平成27年以降は団塊の世代が65歳以上となることから、平成29年度の高齢化率は28.2%と予測されている。

このような状況の中、今後は、医療や介護の需要が更に増加することが見込まれるため、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの充実が益々重要になる。

市民病院は、地域包括支援センター及び地域包括ケア病床を併設していることから、職員の勤務実態に配慮しつつ、本市における地域包括ケアの拠点としての役割も担われたい。

平成28年度予算の概要(当初予算額)

一般会計	465億5,000万円
特別会計	327億 120万円
一般会計・特別会計合計	792億5,120万円

うち、議会費 3億3,685万円

議員人件費	2億3,764万円	※1
職員人件費	7,010万円	※2
政務活動事業費	780万円	※3
常任委員会活動支援事業費	336万円	
会議録作成及び市議会情報システム運営事業費	650万円	※4
議会映像インターネット配信事業費	172万円	※5
議会だより発行事業費	327万円	
議会運営総務費	422万円	
各市議会議長会参画事業費、他	224万円	

※1 議員26名分

※2 事務局職員9名分

※3 議員1人あたり年間30万円交付

※4 タブレット使用料(議員1人1台貸与)、会議録調製費、会議録検索システム

※5 議会中継、録画配信するための経費



高橋 功 議員(大樹会)

佐野ケーブル
テレビについて質問方式
一括質問
一括答弁

Q 合併当初の「新市における事務事業の取り扱い方針」では、「第3セクターである佐野ケーブルテレビを活用し、市民に対し行政情報を提供するとともに、情報の共有を図る」とあるが、合併後11年経過しても解消されていない未整備地区の情報格差解消に向けた今後の取り組みについて伺いたい。

A 行政経営部長

平成22年度からNHKテレビ共同受信施設17施設中、15施設に対し本市の光ケーブルを無償で活用し、地上デジタル放送受信点から信号を供給しています。これを利用して佐野ケーブルテレビが視聴できないかNHKと協議中です。経費等の問題がありますが、地元の皆さん、NHK、ケーブルテレビ、本市の4者で話し合いを早く進めたいと考えています。

その他の質問

☆健康寿命の延伸について



齋藤 弘 議員(政友みらい)

日銀の
マイナス金利の
影響について質問方式
一問一答

Q 追加金融緩和策として2月16日から民間金融機関が日銀の当座預金に預けたお金に0.1%の手数料を払う、マイナス金利時代の到来となったが、本市の※公債費の元金に対する利子の支払いについてどのような影響が出るのか。

A 総合政策部長

本市の市債は、公的資金と民間資金を借入れています。借入れの金利は、公的資金の財政融資資金は国債の流通利回りを基準に定められており、地方公共団体金融機構資金についても同水準となっています。民間資金については、市税等収納金融機関に借入ごとに利率の照会を行い、一番低い利率の金融機関から借入れをしています。

現在、国債の流通利回りが下がっており、今後、このような状況が続いた場合、これからの借入れに対する利子の支払いが少なくなるものとが期待されます。

その他の質問

☆市民病院の安定経営について
☆消防・防災体制の強化について
☆生涯学習の推進について

※公債費とは・・・

歳出の財源を得るために借り入れた「市債」を返済するための費用であり、自治体の借金返済にかかるお金のことを言います。



蓼沼 一弘 議員(大樹会)

※佐野乾山について

質問方式
一括質問
一括答弁

Q 江戸時代の代表的な陶工である尾形乾山が佐野に滞在し作陶したことを裏付ける資料が吉澤記念美術館に寄託され、今後詳しい調査を続ける方針と下野新聞の記事に掲載された。その方法とスケジュール、また期間について伺いたい。

A 教育長

今回本市に寄託された作品は、古文書「陶磁製方」・「陶器伝書」の2点及び陶器の皿4枚です。

これらを平成27年11月末に受け入れ、採寸等の基礎データを作成しました。今後、寄託された6点の資料、作品に関し、調査方針を定め、調査スケジュールを作る予定ですが、美術品の調査研究は、数年単位で時間がかかるものと考えています。また、調査内容は、文献調査や科学的調査など、どのような調査が必要か十分検討していきます。

なお、平成29年1月からの新収蔵展「(仮称)佐野文化の地層を読む」で市民の皆様にお披露目を予定しています。

※佐野乾山とは・・・

江戸時代の陶工である尾形乾山は、約1年間佐野に滞在したとされ、その滞在期間に作陶した作品が「佐野乾山」と称されます。



若田部 治彦 議員(公明党議員会)

※
のうせきずいえきげんしやうしやう
脳脊髄液減少症
について

質問方式
一問一答

Q 病状の理解と治療の保険適用について
周知が必要であり、市のホームページや
広報紙等、更に周知が必要であると考え
る。
また、行政と医療機関との情報提供等課
題を克服するための連携が重要と考えるが、
今後の取り組みについて伺いたい。

A 健康医療部長

市ホームページの暮らしの情報欄、広
報紙にも以前掲載したところですが、平成
28年度からブラッドパッチ療法が保険適
用になることから、引き続き、ホームペー
ジや広報紙で周知啓発していきたいと考
えています。

また、医師会と連

携し、専門外の医師
達にも周知理解を
図り、専門医療機関
への紹介などス
ムーズな連携が取
れるようにし、早期
治療に結び付け
たいと考えています。

その他の質問

☆18歳選挙権につ
いて

※
のうせきずいえきげんしやうしやう
脳脊髄液減少症とは・・・

何らかの理由で脳脊髄液が減少し、頭痛
や様々な全身症状が現れる疾患です。治
療方法があるため基本的には治る病とさ
れていますが、現時点では研究段階にあ
り、未だに不明な部分が多いと言われて
います。



亀山 春夫 議員(政友会)

室の沢橋について

質問方式
一括質問
一括答弁

Q 平成17年に地元101世帯の住民全員より、
室の沢橋についての要望書が提出され
ているが、この要望書に対する認識とこ
レまでの対応、また今後の対応は。

A 都市建設部長

室の沢橋は老朽化が進んでおり、改築
が必要であると認識しています。

当該橋梁は木橋のため劣化の進行が早
く、桁や橋脚などを継続的に修繕してい
ます。平成25年度から26年度にかけ災害復旧
工事を実施しており、安全に通行できるよ
う維持管理に努めています。

今後の対応については、現在、市では老
朽化する公共インフラの長寿命化の課題
があり、これらを安全に長く利用するため
の維持管理、更新には莫大な費用と期間を
要しますので、市全
体の施策の中で調
整を図っていきま
す。

その他の質問

☆高齢者の「生涯活躍」
出来るまちづくりにつ
いて
☆消化ガス発電につ
いて



▲ 室の沢橋(船越町)



鈴木 靖宏 議員(大樹会)

新庁舎周辺整備に
ついて

質問方式
一問一答

Q 新庁舎へのアクセス道路整備につ
いて、大正通りの一方通行解除やギ
オン通りの東西への延伸整備計画につ
いて当局の考えを伺いたい。

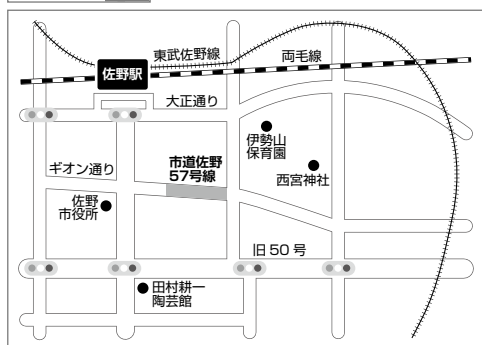
A 都市建設部長

新庁舎へのアクセス道路整備につ
いては、大正通りとギオン通りについて検
討した結果、ギオン通り東側である市道
佐野57号線が新庁舎へのアクセスを向
上させるために優先度が高いと判断し、
現在事業化に向けた調査を進めていま
す。

なお、大正通りやギオン通りの西側に
ついては、市道佐野57号線の整備効果を
確認した上で、
改めて地元住民
とともに検討し、
周辺の動向を観
察しながら検討
していきたいと
考えています。

その他の質問

☆スクールソーシャル
ワーカーの配置につ
いて





井川 克彦 議員(政友会)

※インバウンドについて

質問方式
一問一答

Q 佐野市におけるインバウンドへの取り組みはどのように進んでいるか。

A 観光スポーツ部長

現時点では、メジャーな観光地のように外国人観光客が目に見えて増大しているとは言い難いですが、人が人を呼び呼びピーターも増えている状況で、この点については近隣市町に比べて突出しているところではあります。

平成28年度において多言語対応の観光パンフレットを作成し、案内看板等については順次整備を進めていきたいと考えています。

また、株式会社JTB関東と締結しました包括連携協定や、佐野市スポーツツーリズム協会など様々な民間活力と連携を図りながら着実に推進していきたいと考えています。

その他の質問

☆新庁舎周辺整備について
☆新庁舎建設における地域貢献について

※インバウンドとは・・・

旅行、観光、交通業界では、海外から自国を訪れる旅行や自国を訪れる外国人観光客のことを指す外来語です。



川嶋 嘉一 議員(政風会)

佐野インター産業団地(第2期)について

質問方式
一括質問
一括答弁

Q 今後の産業団地周辺地域の発展に向けて、インフラなどの環境整備は必須の課題であるが、周辺の市街化区域はまだ公共下水道整備がされていない。例えば黒袴町などの下水道整備の計画はあるのか。あるのであれば具体的な内容を伺いたい。

A 都市建設部長

平成27年度の工事をもって佐野インター産業団地内の下水道整備は完了する予定です。周辺地域の市街化区域である黒袴町の集落についても、引き続き整備を進めていきたいと考えています。

整備計画としては、現道を利用した整備を予定しており、平成28年度に工事着手に必要な国・県との手続きを済ませ、平成29年度から測量設計、工事着手と事業を進めていきたいと考えています。

その他の質問

☆ロビーコンサートについて



▲ 佐野インター産業団地(西浦町・黒袴町)



木村 久雄 議員(公明党)

食に関する諸問題について

質問方式
一問一答

Q 日本では年間500万トンから800万トンの売れ残りや食べ残しなど、本来なら食べられるのに捨てられている食料がある。本市における食品ロスの現状と、削減するための今後の展望について伺いたい。

A 産業文化部長

本市の現状については、これまでに調査等は行われていませんので把握できていませんが、平成26年食品ロス統計調査によると、1人1日当たりの食品ロスの量は40.9gとなっており、本市の人口を掛けると1日当たり5トン弱のロスが生じている計算になります。

今後は、食育講座のテーマとして検討するとともに、消費生活と大きくかわる問題ですので、関係部署と対応策等について意見交換をしていきたいと考えています。

その他の質問

☆温室効果ガス対策について
☆子育て支援について





青木 伸 議員(政風会)

佐野市のスポーツ
立市活動の現状に
ついて質問方式
一括質問
一括答弁

Q 本市のスポーツ政策を進めていくために策定された佐野市スポーツ立市推進基本計画では、市全体で全国大会に出場するスポーツ選手、団体数を、平成29年度には150個人・団体とする目標を掲げている。この目標達成に向けて、当局が取り組もうとしている重点事業は具体的にどのようなものがあるのか。

A 観光スポーツ部長

平成34年に栃木県で開催される国民体育大会に向けて、本市競技スポーツ全体の底上げを図ることが急務となることから、主力選手となる現在の小中学校の生徒を対象に、競技力の向上、選手育成を図るため、平成28年度からアスリート育成プランを策定した上で、競技スポーツ強化事業として、選手強化のみならず、指導者育成事業等を実施していきま

その他の質問

☆佐野インランドポート及び出流原PA周辺総合物流施設整備について



田所 良夫 議員(新風)

まち・ひと・しごと
創生総合戦略及び新
市建設計画について質問方式
一問一答

Q インランドポート整備事業として、佐野田沼インター産業団地内に1.1ヘクタールを要しているが、出流原PA周辺総合物流開発敷地としては185ヘクタールとある。核となるインランドポートより、それ以外の面積のほうが圧倒的に多いように感じるがその内容は。首都圏のバックアップ基地を有する防災拠点開発整備事業も含まれているのか。

A 総合政策部長

出流原PA周辺総合物流開発では、インランドポート、産業団地、高速バスターミナル、防災拠点などさまざまな機能を有し、本市の持つ立地優位性を生かした広域的な拠点として整備を進めていく必要があると考えています。開発整備の構想においても、首都圏災害時の防災拠点としての機能も含め検討しています。

その他の質問

☆第3次佐野市行政改革大綱について



▲ インランドポート予定地



菅原 達 議員(公明党議員会)

保育事業が
抱える課題と
展望について質問方式
一問一答

Q 待機児童、保育児童が解消されない一番の原因は保育士の不足とのことだが、保育士不足の大きな要因のひとつとして考えられる保育士の給与水準を改善させる必要性を市はどのように認識しているか。下野市では平成28年度から保育士等就業奨励金制度が新設されるようだが、佐野市としてもできることはないのか。

A こども福祉部長

子ども・子育て支援新制度において、一定の改善が行われていますが、新制度施行後においても保育士が不足している現状を踏まえると、基本的な公定価格や処遇改善による給与水準の改善が十分になされていないと考えられます。市としては、今後国に対して公定価格や処遇改善制度の見直しを要望していきたいと考えています。

その他の質問

☆新庁舎の有効活用について





久保 貴洋 議員(大樹会)

地方創生における
佐野市の政策について質問方式
一問一答

Q 平成32年度に開校する田沼西地区の小中一貫校の校舎には、木材をふんだんに使用して、子どもたちのストレスを減らし、自然と調和するような木造建築にする考えはあるか。

新議場では三義の杉材などの県産材が使われており、大変穏やかなムードで議会が進められている。穏やかで温かみのある環境の学校をつくることは、こどもの街宣言を掲げている本市として必要であると考えられている。

A 産業文化部長

今後の建築予定である校舎や公共建築物について、木材利用等を通じて、木のぬくもりや地元産材を使用することで地域経済の活性化を図りたいと考えています。また、中高層建築物に対する今後のCLTの動向や学校づくりに関する事例など、関係課に情報提供を行い、積極的に木材等が利用されるよう、その理解と協力に努めています。

※CLTとは・・・

欧州で開発された大規模建築物工法で、板の層を各層で互いに直交するように積層接着した厚型パネルのことをいいます。



本郷 淳一 議員(公明党議員会)

空き家対策
について質問方式
一問一答

Q 空き家は全国で820万件にも及び、大きな社会問題となっている。本市の空き家対策として、空き家対策計画の策定と総合計画への位置付けはどうなっているのか。また、空き家管理代理業務、空き家バンクを実施する考えはあるか。

A 行政経営部長

平成28年度からは、空き家対策室を新設し、総合計画への位置付けや空き家等対策計画の策定に向け、関係各課と連携を図りながら取り組んでいく考えです。

また、公益社団法人佐野市シルバー人材センターと空き家等の適正な管理の推進に関する協定を、佐野市建設業協会及び佐野市建設業協友会と老朽空き家等の取り壊しに関する協定の締結に向けた協議を進めているところです。

A 総合政策部長

Q 空き家バンクをできるだけ早い時期に創設したいと考えており、情報発信の主なツールとなるホームページを立ち上げ、空き家情報を効果的に発信できるような体制を整備していきたいと考えています。

その他の質問

☆クリケットのまちづくりについて



横田 誠 議員(新風)

男女が生き生きと
活躍できる社会の
実現について質問方式
一問一答

Q 男女共同参画を切り口として地域課題の解決を考えることは、多様な人たちの知恵を結集することにおいて、時期を捉えた大変意義のあることである。男女共同参画について各種情報を全国に伝播する※日本女性会議という大会が毎年開催されており、この会議を誘致すべきと考えるが、当局の見解を伺いたい。

A 市長

日本女性会議を誘致することは、女性の社会進出への機運を一層高め、男女共同参画社会の実現に向けて更なる前進の機会となります。課題もありますが、市民女性団体、企業、諸団体等のご理解とご協力をいただきながら、誘致に向けて前向きに検討していきたいと考えています。

その他の質問

☆食品ロス削減策とフードバンクへの支援について
☆チャイルドファーストなまちづくりについて

※日本女性会議とは・・・男女共同参画社会の実現に向けて課題の解決を探るとともに、参加者相互の交流促進や情報ネットワーク化を図ることを目的に毎年開催され、全国から2,000～3,000人規模の参加者が集う国内最大級のイベントとなっています。



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)

子育て支援の
充実について質問方式
一問一答

Q 平成27年4月から公立や民間の保育園、認可保育園の保育所等に入所を希望した0、1、2歳児について、様々な調整をしたが全て満杯となり、どこへも入れなかったこどもが108名いる状況である。

市の保育所整備運営計画では公立に入るこども達の数も290名縮小させる計画になっているが、この計画はどのようなかと思うが、市の考えは。

A こども福祉部長

申し込みに際しては、第1、2、3希望までお聞きし、利用調整しています。昔の保育の需要は今ほど、0、1、2歳児が多くはなく、定員が推移してきている状況です。保育所整備計画は、現在見直しをしており、今後は現代に合った形での定員となるよう検討していきたいと思っています。

その他の質問

☆経済的理由による
教育格差を軽減す
るために



飯田 昌弘 議員(大樹会)

教育行政について

質問方式
一問一答

Q 学力アッププロジェクト等により、県平均値を上回る学科、科目も出てきたが、全国的にみるとまだ努力できる可能性を残している。学力アップは市全体で取り組む重要な課題の一つと考えるが、これまでの取り組みの検証と今後の対応は。

A 教育長

各学校の先生方の非常に熱心な取り組みにより、平成27年度は市全体の傾向として、全国との差がゼロポイント台となり、全国と肩を並べたと言えるまで改善しました。今後はさらに全国を上回るよう、高いところを目指して努力していきます。

また、教育委員会、学校、家庭、地域の連携を強化していくことが重要であると考えますので、教育環境の充実と学力、体力向上のさらなる飛躍を目指して、地道な取り組みを継続していきたいと考えています。

その他の質問

☆安心・安全のまちづくりについて



鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)

公共施設の再編について

質問方式
一問一答

Q 葛生地区公民館をあくとプラザに移転する計画があるのか。また、公民館となると文化施設から生涯学習施設への転用になるが、このメリットやデメリットをどう考えるか。

A 行政経営部長

移転については、葛生行政センター建設に関する地元説明会で計画の二案として説明をしました。転用については、文化施設として稼働率や利用状況が低いため改善することが課題であり、一つの考え方です。転用のメリットは施設の有効活用が図れ、利用状況の改善が見込めます。また、葛生あくと福祉センターの一部を使用することで公民館機能として対応が可能です。デメリットは、公民館は営利目的の事業が禁止であり、入場料を徴収する事業の制限があります。今後十分検討していきたいと思っています。

その他の質問

☆まち・ひと・しごと
創生総合戦略につ
いて



▲ 葛生地区公民館

☆電力の小売全面自由化に関して

その他の質問

こどもクラブの施設整備は、佐野市こどもクラブ施設整備方針の年次計画に基づき行っています。平成27年度は植野小、城北小、田沼小の3校は施設を建設、また佐野小、天明小、赤見小、多田小の4校は余裕教室を改修して合計7カ所、10クラブを整備する計画であり、いずれも計画通り平成28年4月に開校できることになっていきます。



こどもクラブは現在小学校4年生から6年生までも受入対象となったが、平成27年度は93人、平成28年度は1,270人の児童が施設の確保となっており、多くの家庭で不安を感じながら生活している。こどもクラブの施設の計画と整備状況を伺いたい。



小暮 博志 議員(政友みらい)

「佐野市子ども子育て支援事業計画」の状況等に関して

質問方式
一問一答

平成28年第1回佐野市議会定例会 審議された議案等と結果

2月定例会は2月26日(金) から3月22日(火) までの26日間の日程で行われました。審議された議案等と結果は次のとおりです。

号	件 名 (主 旨)	議決結果	
報 告 第1号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
報 告 第2号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
報 告 第3号	市長の専決処分事項報告について(損害賠償の額の決定及び和解)	報告	—
議 案 第1号	教育委員会委員の任命について(内田圭子氏の任期満了により後任者に同氏を任命するもの)	任命同意	全会一致
議 案 第2号	教育委員会委員の任命について(長尾宏道氏の退任により後任者に駒形忠晴氏を任命するもの)	任命同意	全会一致
議 案 第3号	公平委員会委員の選任について(山田実氏の任期満了により後任者に同氏を選任するもの)	選任同意	全会一致
議 案 第4号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備について(行政不服審査法の施行に伴い、所要の規定を整備するため)	原案可決	全会一致
議 案 第5号	佐野市行政不服審査会条例の制定について(行政不服審査法の施行に伴い、佐野市行政不服審査会を設置するための制定)	原案可決	全会一致
議 案 第6号	佐野市行政不服審査担当職員の任用等に関する条例の制定について(行政不服審査法に係る審理手続を行わせる行政不服審査担当職員を任用するための制定)	原案可決	全会一致
議 案 第7号	佐野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の改正について(地方公務員法及び学校教育法の改正に伴い、所要の規定を整備するため)	原案可決	全会一致
議 案 第8号	佐野市証人等実費弁償条例の改正について(農業委員会等に関する法律の改正に伴い、所要の規定を整備するため)	原案可決	全会一致
議 案 第9号	佐野市長等の給与及び旅費に関する条例及び佐野市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について(市長、副市長及び議会の議員の平成27年12月及び平成28年4月1日以降に支給する期末手当の額を改めるため)	原案可決	全会一致
議 案 第10号	佐野市職員の給与に関する条例等の改正について(一般職の職員の給与に関する法律等の改正に伴い、所要の規定を整備するため)	原案可決	全会一致
議 案 第11号	佐野市職員の降給に関する条例の制定について(地方公務員法の改正に伴い、職員の降給に関し必要な事項を定めるための制定)	原案可決	全会一致
議 案 第12号	佐野市税条例の改正について(行政不服審査法の施行及び地方税分野における個人番号利用手続の一部見直しに伴い、所要の規定を整備するため)	原案可決	全会一致
議 案 第13号	佐野市東日本大震災復興推進基金条例の廃止について(佐野市東日本大震災復興推進基金を廃止するため)	原案可決	全会一致
議 案 第14号	佐野市いじめ問題対策連絡協議会条例の制定について(いじめ防止対策推進法の規定に基づき、佐野市いじめ問題対策連絡協議会を設置するための制定)	原案可決	全会一致

号	件 名 (主 旨)	議決結果	
議案第15号	佐野市いじめ問題対策委員会条例の制定について(いじめ防止対策推進法の規定に基づき、佐野市いじめ問題対策委員会を設置するための制定)	原案可決	全会一致
議案第16号	佐野市いじめ問題再調査委員会条例の制定について(いじめ防止対策推進法の規定に基づき、佐野市いじめ問題再調査委員会を設置するための制定)	原案可決	全会一致
議案第17号	佐野市教育センター条例の改正について(平成28年3月31日をもって教育センターを移転するため)	原案可決	全会一致
議案第18号	佐野市体育施設条例の改正について(佐野市営大橋町プール及び佐野市田沼総合運動場のプールを廃止するため)	原案可決	全会一致
議案第19号	佐野市国際クリケット場条例の制定について(佐野市旧田沼高校運動場を佐野市国際クリケット場とするための制定)	原案可決	全会一致
議案第20号	佐野市立博物館条例の改正について(佐野市郷土資料保存田沼館を廃止し、及び所要の規定を整備するため)	原案可決	全会一致
議案第21号	佐野市消費生活センター条例の制定について(消費者安全法の改正に伴い、所要の規定を整備するため)	原案可決	全会一致
議案第22号	佐野市子どもクラブ条例の改正について(平成28年4月1日に佐野子どもクラブ、天明子どもクラブ、第3植野子どもクラブ、第4植野子どもクラブ、第3城北子どもクラブ、第4城北子どもクラブ、第2赤見子どもクラブ、第3田沼子どもクラブ及び多田子どもクラブを開設するため)	原案可決	全会一致
議案第23号	佐野市介護老人保健施設条例の改正について(介護保険法の改正に伴い、所要の規定を整備するため)	原案可決	全会一致
議案第24号	佐野市介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の改正について(指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準を改めるため)	原案可決	全会一致
議案第25号	佐野市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の改正について(指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準を改めるため)	原案可決	全会一致
議案第26号	佐野市農業集落排水処理施設条例の改正について(農業集落排水事業並木地区を公共下水道に統合するため)	原案可決	全会一致
議案第27号	佐野市都市計画法第34条第11号に規定する開発行為の許可の基準に関する条例の改正について(自己の居住の用に供する一戸建ての住宅の建築における開発行為の許可基準を緩和し、及び所要の規定を整備するため)	原案可決	全会一致
議案第28号	佐野市建築審査会条例の改正について(建築基準法の改正に伴い、佐野市建築審査会の委員の任期を定めるため)	原案可決	全会一致
議案第29号	佐野市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の改正について(佐野新都市西浦・黒袴地区地区計画区域における建築物に関する制限を改めるため)	原案可決	全会一致
議案第30号	佐野市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の改正について(地方公務員法及び佐野市職員の給与に関する条例の改正に伴い、水道事業企業職員の給与の支給の基準を改めるため)	原案可決	全会一致
議案第31号	佐野市火災予防条例の改正について(対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の改正に伴い、所要の規定を整備するため)	原案可決	全会一致
議案第32号	平成27年度佐野市一般会計補正予算(第7号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ564,472千円を追加並びに継続費、繰越明許費及び地方債の補正)	原案可決	全会一致
議案第33号	平成27年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ177,208千円を追加するもの)	原案可決	全会一致
議案第34号	平成27年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第4号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ9,294千円を減額するもの)	原案可決	全会一致
議案第35号	平成27年度佐野市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ185,814千円を減額並びに繰越明許費及び地方債の補正)	原案可決	全会一致
議案第36号	平成27年度佐野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ157千円を減額するもの)	原案可決	全会一致
議案第37号	平成27年度佐野市自家用有償バス事業特別会計補正予算(第1号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ639千円を減額するもの)	原案可決	全会一致

号	件 名 (主 旨)	議決結果	
議案第38号	平成27年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ8,982千円を減額するもの)	原案可決	全会一致
議案第39号	平成27年度佐野市介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第1号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ15千円を減額するもの)	原案可決	全会一致
議案第40号	平成27年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ4,588千円を減額するもの)	原案可決	全会一致
議案第41号	平成27年度佐野市佐野田沼インター産業団地造成事業特別会計補正予算(第3号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ7,509千円を減額するもの)	原案可決	全会一致
議案第42号	平成27年度佐野市西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ15,113千円を減額並びに繰越明許費及び地方債の補正)	原案可決	全会一致
議案第43号	平成27年度佐野市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議案第44号	平成27年度佐野市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議案第45号	平成28年度佐野市一般会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ46,550,000千円とするもの)	原案可決	賛成多数
議案第46号	平成28年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ15,367,600千円とするもの)	原案可決	賛成多数
議案第47号	平成28年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ283,300千円とするもの)	原案可決	全会一致
議案第48号	平成28年度佐野市公共下水道事業特別会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ3,615,300千円とするもの)	原案可決	全会一致
議案第49号	平成28年度佐野市農業集落排水事業特別会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ184,300千円とするもの)	原案可決	全会一致
議案第50号	平成28年度佐野市自家用有償バス事業特別会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ158,700千円とするもの)	原案可決	全会一致
議案第51号	平成28年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ10,874,100千円とするもの)	原案可決	賛成多数
議案第52号	平成28年度佐野市介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ52,100千円とするもの)	原案可決	全会一致
議案第53号	平成28年度佐野市後期高齢者医療特別会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ1,304,100千円とするもの)	原案可決	賛成多数
議案第54号	平成28年度佐野市佐野田沼インター産業団地造成事業特別会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ737,600千円とするもの)	原案可決	全会一致
議案第55号	平成28年度佐野市西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ124,100千円とするもの)	原案可決	全会一致
議案第56号	平成28年度佐野市水道事業会計予算	原案可決	全会一致
議案第57号	平成28年度佐野市病院事業会計予算	原案可決	全会一致

賛否がわかれた議案

	議決結果	賛成	反対	1 齋藤弘	2 亀山春夫	3 小暮博志	4 久保貴洋	5 鈴木靖宏	6 菅原達	7 木村久雄	8 川嶋嘉一	9 横田誠	10 田所良夫	11 井川克彦	12 大川圭吾	13 篠原一世	14 飯田昌弘	15 蓼沼一弘	16 本郷淳一	17 青木伸	18 金子保利	19 岡村恵子	20 鶴見義明	21 山菅直己	22 藤倉義雄	23 高橋功	24 若田部治彦	25 山口孝	26 春山敏明
議 案																													
議案第45号	原案可決 (賛成多数)	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第46号	原案可決 (賛成多数)	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第51号	原案可決 (賛成多数)	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第53号	原案可決 (賛成多数)	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○

※○＝賛成または採択、×＝反対または不採択

※議長(篠原一世)は採決に加わりません。

6月定例会日程(案)

平成28年第2回定例会の日程は、5月27日(金)の議会運営委員会で内定し、6月3日(金)の本会議で決定します。
※日程は変更になることがあります。

月	日	開会時間	会議内容
5月	25日(水)		請願・陳情提出期限(17:00まで)
	26日(木)		
	27日(金)	10:00	議会運営委員会
	28日(土)	—	
	29日(日)	—	
	30日(月)	—	
	31日(火)	—	
6月	1日(水)	—	
	2日(木)	—	
	3日(金)	10:00	本会議(議案説明)
	4日(土)	—	休会

月	日	開会時間	会議内容
6月	5日(日)	—	休会
	6日(月)	—	休会
	7日(火)	10:00	本会議(議案質疑、討論、表決)
	8日(水)	10:00	本会議(一般質問)
	9日(木)	10:00	本会議(一般質問)
	10日(金)	10:00	本会議(一般質問)
	11日(土)	—	休会
	12日(日)	—	休会
	13日(月)	9:00	建設常任委員会
		13:30	厚生常任委員会
	14日(火)	9:00	経済文教常任委員会
		13:30	総務常任委員会
	15日(水)	—	休会
	16日(木)	—	休会
	17日(金)	10:00	本会議(委員長報告、質疑、討論、表決)

消防本部庁舎が完成しました!

防災拠点施設として消防本部庁舎を新設整備し、佐野市の消防防災体制の充実、強化を図り、市民が安心して安全に暮らせる街づくりに寄与します。



新消防庁舎



新消防庁舎を見学しました。



高機能消防指令センター

議会のことをもっと
知ってもらいたい！

 佐野市議会

皆様のご意見を
お聞かせください！

議会報告会



日時 平成28年 5月15日(日)

午前10時～12時(予定)

無料

場所 道の駅どまんなかたぬま
(どまんなかホール)
〒327-0313 佐野市吉水町 366-2

対象 佐野市内在住の方

定員 100名

※座席に限りがありますことをご了承ください。

参加方法 事前申し込み不要

当日どまんなかホールまでお越しください。

※実施日が日曜日のため会場駐車場の混雑が予想されますので、お早目のご来場をお待ち申し上げます。

平成28年第1回定例会で審議した主な議案、予算審査特別委員会での審査内容についての報告や市民の皆様から議会や市政についてのご意見をお聞きしたいと思います。



お気軽にお越しください!!

問合せ先 佐野市議会事務局(本庁舎7階) 電話 0283-20-3036

詳しくは 佐野市議会 (<http://www.city.sano.lg.jp/gikai/>)

検索

【議会事務局】

FAX 21-4411
TEL 20-3036

【編集委員会】
委員長 金子 保利
委員 小暮 博志
委員 鈴木 靖宏
委員 飯田 昌弘
委員 本郷 淳一

2月定例会では、一般質問に19名が登壇し熱い議論が交わされました。また、新年度を迎えるにあたり、新庁舎開庁後初の予算審査特別委員会が開かれ、4日間で延べ27名による熱心な質疑が行われました。

5月15日(日)には上記のとおり、開かれた議会を目指し、初の議会報告会を開催します。ぜひご来場ください。私ども編集委員による発行は、今回で最後となりました。一年間ありがとうございました。引き続きご愛読よろしくお願いたします。(本郷 淳一)

あ
と
が
き